

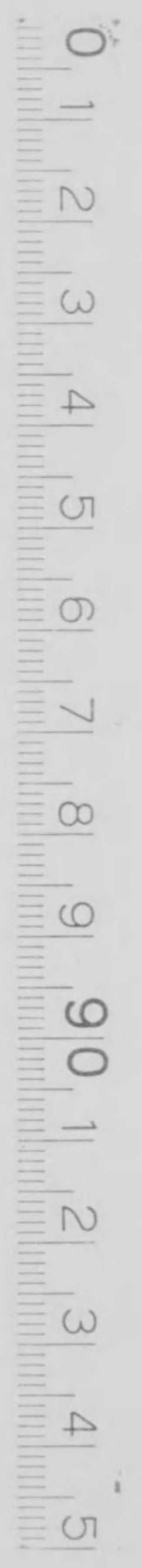
工本5N-97

291

74

岐阜高等農林學校一覽

大正十四年度



始



本校ハ昨年四月開校以來一年有半今尙創設時代ニ屬ス、隨ツテ本校一覽  
ヲ編成刊行シ汎ク頒布スルノ時期ニハ非サルモ之カ要求日ニ多キヲ以  
テ學則及細則共ノ他狀勢ノ一斑ヲ編綴セリ、蓋シ本校ハ勅令ニ依リ農業  
ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ授ケ併セテ徳性ノ涵養ニ力ムルノ學府タル  
ハ辯ヲ俟タサルモ之カ育英上教養ニ訓育ニ本校ハ又自ラ本校トシテノ  
理想ナカラサルヘカラス、煩瑣ナル校規ノ如キハ可成之ヲ設ケサルヲ本  
旨トシ所定ノ校規モ漸次簡略ニ附セムコトヲ期ス、故ニ既ニ制定セル細  
則ノ如キモ學則施行ノ道程的標準ナレハ内容充實ノ進捗ト共ニ訂正改  
廢ヲ免レサルコトナシトセス幸ニ之ヲ諒セラレムコトヲ

大正十四年十月中旬

291-74

岐阜高等農林學校一覽

大正十四年度

目次

第一 沿革略……………一

第二 學年曆……………一

第三 岐阜高等農林學校規程……………一

第四 岐阜高等農林學校規則……………一

第五 細則……………一

一 事務規程……………一

二 物品會計規程細則……………一

三 學校醫職務規程……………一

四 學生服制……………一

五 學生心得……………一

大正十四年十一月十七日  
 大正 九 八  
 大 美 美  
 14. 11. 17  
 内交

二

六、通學生取締規則……………五九

七、寄宿舍規則……………六一

八、寄宿科徵收規程……………六四

九、圖書館規則……………六五

一〇、實驗農場規程……………七二

第六 職 員……………七四

第七 學 生……………七九

一、學生數……………七九

二、學生姓名……………七九

三、學生地方別表……………八五

四、學生年齡表……………八八

五、入學志願者及入學者學科別表……………八九

第八 土地及建物……………九〇

一、土 地……………九〇

二、建 物……………九〇

第九 關係法令……………九三

一、文部省直轄諸學校官制抄……………九三

二、實業學校令抄……………九四

三、專門學校令抄……………九五

四、官吏服務紀律……………九六

五、專門學校入學者檢定規程……………一〇〇

六、實業學校卒業者ノ專門學校入學ニ關スル件抄……………一〇三

七、文部省直轄學校外國人特別入學規程……………一〇四

八、臺灣又ハ朝鮮人ニ外國人特別入學規程準用ノ件……………一〇五

九、實業學校教員養成規程……………一〇五

一〇、文部省直轄實業專門學校委託生規程……………一〇〇

附 錄

- 一、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定…………… 二二
- 二、文部省直轄諸學校生徒入學試驗無効ニ關スル件…………… 二三
- 一、岐阜高等農林學校校友會會則…………… 二三
- 二、岐阜高等農林學校校友組合規約…………… 二七

第一 沿革略

大正十二年

官制公布 十二月十日文部省直轄學校官制中改正シ本校ヲ加フル旨公

布セラル(勅令第五〇二號)

職員定員令公布 十二月十日文部省直轄諸學校職員定員令中改正シ本

校職員ノ定員ヲ定メラル(勅令第五〇二號)

校長任命 十二月十一日北海道帝國大學教授正五位勳四等農學博士東

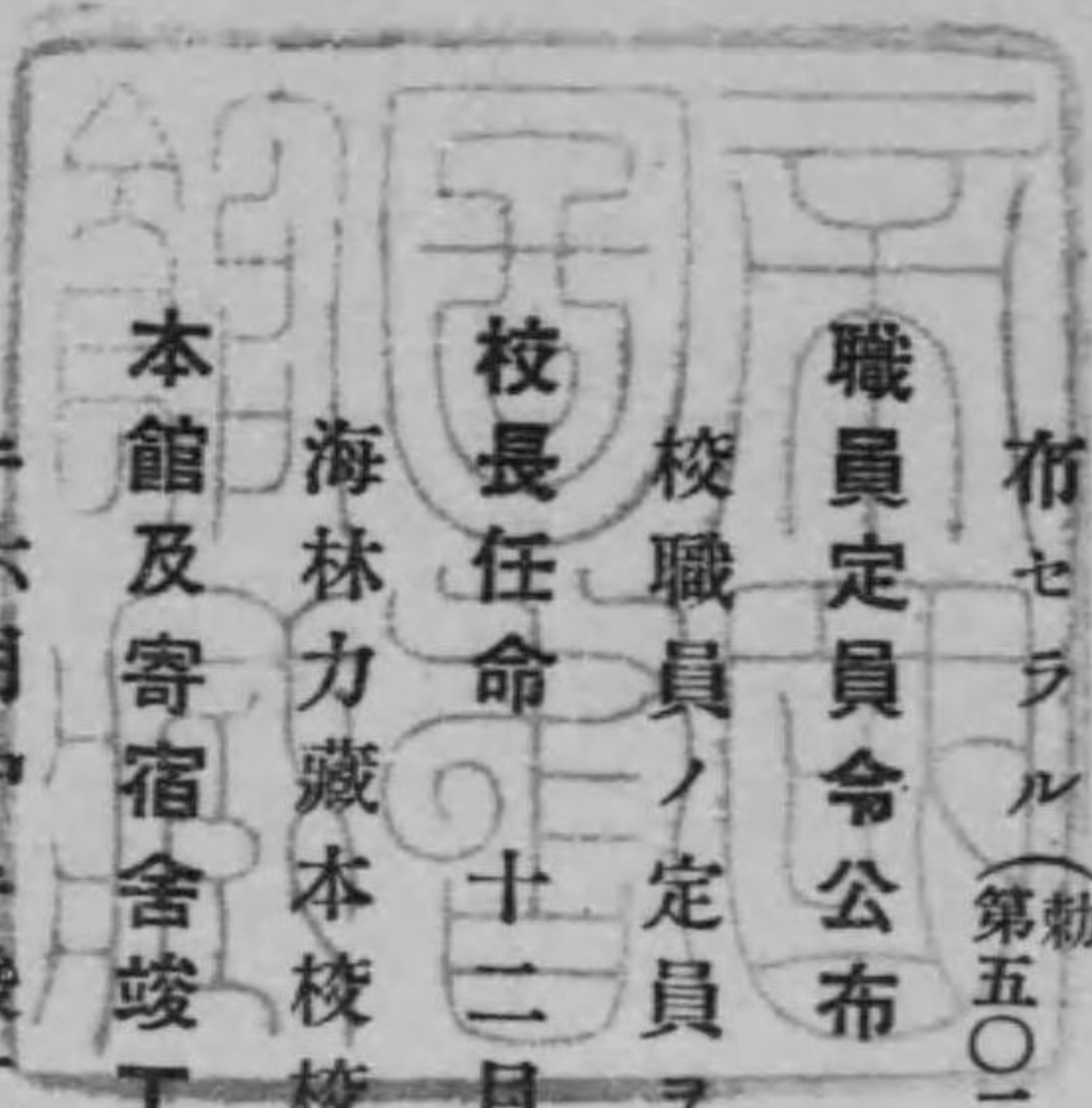
海林力藏本校校長ニ任命セラル

本館及寄宿舎竣工 十二月十二日本館及同附屬建物竣工シ寄宿舎ハ業

ニ六月中ニ竣工セリ

事務所指定 十二月十三日本校ノ事務ハ當分ノ間文部省内ニ於テ之ヲ

取扱フ旨公示セラル(文部省告示第四五五號)



大正十三年

位置指定授業開始 一月九日本校ノ位置ヲ阜縣稻葉郡那加村ト定メ本年四月ヨリ授業ヲ開始ノ旨公示セラル(文部省告示第一號)

事務所移轉 二月二十日事務所ヲ本校内ニ移ス

規程公示 二月二十二日本校規程ヲ公示セラル(文部省令第六號)

規則制定 二月二十六日本校規則ノ制定ヲ許可セラル

入學試驗 三月二十七日ヨリ三日間本校、神戸高等商業學校及新潟高等學校ニ於テ入學試驗ヲ施行ス

試驗檢定合格者發表 四月五日農學科ニ四十一名、林學科ニ三十名、農藝化學科ニ三十名入學ヲ許可ス

寄宿料徵收規程制定 四月九日本校寄宿料徵收規程ヲ制定ス

入學宣誓式 四月十五日入學宣誓式ヲ行ヒ翌日ヨリ授業ヲ開始ス

職員定員令改正 五月十六日文部省直轄學校職員定員令中改正セラル

(勅令 第二二三號)

實驗室竣工 六月二十日各實驗室及同附屬建物竣工ス

勅語下賜 九月六日教育ニ關スル勅語竝ニ戊申詔書謄本ヲ下賜セラル

御眞影拜戴 十月二十一日 天皇 皇后兩陛下御眞影竝皇太子殿下御影ヲ拜戴ス

文部次官臨校 十月二十七日文部政務次官鈴置倉次郎閣下臨校セラル

校長逝去 十一月七日其筋ヨリ東海林學校長ニ特旨敍位(從四位)ノ御沙汰アリ

同日逝去ノ旨發喪ス

同日教授米山豐本校長事務取扱ヲ命セラル

校長任命 十二月十九日朝鮮總督府水原高等農林學校教授兼朝鮮總督府視學官正五位勳四等草場榮喜本校校長ニ任セラル

大正十四年

物品會計規程細則制定 一月三十日物品會計規程細則ヲ制定ス  
 養蠶室竣工 二月十七日養蠶室竣工ス  
 無試験檢定 三月二十三日ヨリ二日間無試験檢定ヲ施行シ二十四日合格者ヲ發表ス

入學試験 三月二十五日ヨリ三日間本校東京高等師範學校、神戸高等商業學校及新潟高等學校ニ於テ入學試験ヲ施行ス

職員定員令改正 四月一日文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正セラル  
(勅令第八一號)

試験檢定合格者發表 四月五日農學科ニ三十八名林學科ニ二十三名農藝化學科ニ二十六名入學ヲ許可ス

入學宣誓式 四月十五日入學宣誓式ヲ舉行シ翌日ヨリ授業ヲ開始ス  
 規程改正 五月二十八日本校規程ノ一部ヲ改正ノ旨公示セラル(文部省令第二號)

職員定員令改正 六月三日文部省直轄諸學校職員定員令ヲ改正セラル

(勅令第二一六號)

農場建物竣工 七月六日農場建物竣工ス

文部大臣臨校 九月十四日文部大臣岡田良平閣下伊藤秘書官ヲ隨ヘ臨校セラル

附 本校職員定員異動表

年 月 日	校 長	教 授	助 教 授	書 記
大正十二年十二月十日	—	—	—	—
同 十三年五月十六日	—	—	—	—
同 十四年四月一日	—	—	—	—
同 十四年六月三日	—	—	—	—
		一 四 七 七 五	八 五 六 二	五 四 四 四

第二學年曆

四月一日	第一學期始
四月三日	神武天皇祭
四月十五日	入學宣誓式
七月十一日	夏期休業始
七月三十日	明治天皇祭
八月三十一日	天長節
九月十日	夏期休業終
秋分ノ日	秋季皇靈祭
十月十七日	神嘗祭
十月三十一日	天長節祝日拜賀式 第一學期終
十一月一日	第二學期始

十一月三日	體育デー
十一月二十三日	新嘗祭
十二月十日	創立記念日
十二月二十五日	冬期休業始
一月一日	新年拜賀式
一月七日	冬期休業終
二月十一日	紀元節拜賀式
春分ノ日	春季皇靈祭
三月二十五日	春期休業始
三月三十一日	春期休業終、第二學期終



### 第三 岐阜高等農林學校規程

(大正十三年二月二十二日  
文部省令第六號)

第一條 岐阜高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條 岐阜高等農林學校ノ學科ハ農學科林學科及農藝化學科トス

第三條 岐阜高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週教授時數ヲ増減シ又ハ休業中實習實驗ヲ課シ若クハ特別講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

(學科目及其程度省略)

第四條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若クハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

### 第四 岐阜高等農林學校規則

#### 第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林業ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス

第二條 本校ニ農學科林學科及農藝化學科ヲ置ク

第三條 各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條 本校ニ研究生及選科生ヲ置クコトアルヘシ  
研究生及選科生ニ關シテ特ニ規定スル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規則ヲ準用ス

第五條 本則施行ニ關シ必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

#### 第二章 學年學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ二學期トス第一學期ハ四月一日ヨリ十月三十一

日ニ至リ第二學期ハ十一月一日ヨリ翌年三月三十一日ニ至ル

第八條 休業日ハ左ノ如シ但シ休業日ト雖モ實習實驗ヲ課シ又ハ特別

講義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日曜日 一、大祭祀日 一、學校記念日

一、春季休業 自三月二十五日 至三月三十一日

一、夏季休業 自七月十一日 至九月十日

一、冬季休業 自十二月廿五日 至一月七日

第三章 學科目及其ノ程度

第九條 各學科ノ學科目及其ノ每週授業時數ハ左ノ如シ但シ必要ノ場合ニ於テハ各學科目ノ每週授業時數ハ修身ヲ除クノ外之ヲ増減スルコトアルヘシ

農學科 講義ノ部 (每週授業時數)

學科目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
修身	一	一	一	一	一	一
英語	三	三	三	三		
獨語	二	二	二	二		
應用數學	(二)	(二)				
物理學	二	二				
氣象學	二					
化學	二	二	二			
礦物學及地質學	二	二				
土壤學		二	二			
肥料學			二	二		

計	體操	教育學	林學大意	殖民學	農政學	農業經營學	經濟學	法學通論	農產製造學	畜產學	應用菌學
(二八)	二						二	二			
(二九)	二						二	二			
(二八)	二		(三)			二					
(二八)	二		(三)			二				二	
(三三)	二	(三)			二				三	三	二
(四五)	二			二	二				三	三	

榮養化學	昆蟲學	養蠶學	園藝學	作物學	育種學	實驗遺傳學	動物學	植物病理學	植物學	農業工學	農業機械學
				二			二		二		二
三				二			二		二		
	二	二		二		二			二	二	
	二	二	二	二	二			二		二	
		二	二	二	二			二			
				(二)	(三)						

實習實驗ノ部 (每週授業回数)

學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
化學實驗			一			
植物學實驗	一		一		一	
動物學實驗	一		一			
特殊實驗					不定	不定
農學實驗及演習					一	二
農場實習	三		二		三	
養蠶實習			不定			
計	五	五	不定五	四	不定二	不定二

林學科 講義ノ部 (每週授業時數)

學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
修身	一	一	一	一	一	一
英語	三	三	三	三		
獨語	二	二	二	二		
數學	四	四				
物理學	三	三				
化學	二	二	二			
地質學及土壤學	二	二				
氣象學		二				
森林植物學	三	三				
森林動物學	二					



學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
森林植物學實驗	一	一				
森林動物學實驗						
化學實驗				一		
應用機械學實習					一	
森林測量學實習及製圖	一					
森林數學實習						
森林土木工程實習					一	一
森林理水及砂防工程實習						一
造林學實習			一			
木材工藝學實習					一	

學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
森林利用學實習						
森林化學及林產製造實習					一	一
森林經理學實習						一
林學實地演習	不定	不定	不定	不定	不定	不定
計	不定三	不定二	不定三	不定四	不定四	不定四

農藝化學科 講義ノ部 (每週授業時數)

學 科 目	第一學年		第二學年		第三學年	
	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期	第一學期	第二學期
修身	一	一	一	一	一	一
英語	三	三	三	三		
獨語	二	二	二	二		







第四章 入學在學休學及退學

第十條 入學ノ期ハ學年ノ始メトス

第十一條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタルモノタルヘシ

一、中學校卒業者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定合格者

三、專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

前項第一號及第三號ニ該當スル學校在學生ニシテ當該學校長ニヨリ其ノ年三月末日迄ニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル者ハ入學ヲ出願スルコトヲ得

第十二條 入學檢定ハ學力檢定身體檢查及口頭試問ニ依リ之ヲ行フ學力檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第十三條 入學試驗檢定ハ國語、漢文、英語、數學、物理、化學、動物、植物ノ中三學科目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ但シ其ノ學科目ハ學生募集ノ都度之ヲ公示ス

第十四條 無試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ本則第十一條第一項第一號該當者及同第三號該當者中農業學校卒業者若ハ以上學校最終學年ノ在學生ニシテ最後二學年間ニ於ケル學業成績ノ席次同一學全年數ノ首位ヨリ十分ノ一以內ニ在ルモノタルヘシ  
前項ニ依ル卒業者ニ在リテハ卒業ノ翌年度ヲ經過セサルコトヲ要シ又在學生ニ在リテハ其ノ最終學年學業成績席次ハ當該學年ニ於ケル既往學期ノ平均學業成績席次ヲ以テ之ニ充ツ

第十五條 入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ  
一、入學願票第一號書式（用紙ハ本校ヨリ交付シタルモノニ限ル）

二、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書(卒業シタル場合ニハ  
 遲滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス)若ハ專門學校入學者試験  
 檢定合格證明書

三、寫眞(入學願票提出前六箇月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形)  
 四、身體檢査證(第二號書式)(用紙ハ本校ヨリ交付シタルモノニ限ル)

(入學檢定料ハ金五圓トシ納付後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス)

第十六條 (入學ノ許可ヲ得タル者ハ一箇月以内ニ保證人連署ヲ以テ誓  
 書(第三號書式及戶籍抄本ヲ差出スヘシ)

第十七條 第一保證人ハ本人ノ父兄後見人又ハ親族中ノ成年者ニシテ  
 身元確實ナル男子タルヘシ

第二保證人ハ學校所在地ニ近キ地ニ居住セル身元確實ナル男子ニシ  
 テ本校ニ於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

第十八條 保證人轉籍、轉居、改姓、改名、又ハ改印シタルトキハ直ニ學校長

ニ届出ツヘシ

第十九條 保證人死亡若ハ第十七條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證  
 人ヲ定メ速ニ誓書ヲ差出スヘシ

第二十條 學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ具シ三日  
 以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲七日以上ニ互ルトキハ醫師ノ診斷書  
 ヲ添附スルヲ要ス

第二十一條 學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ二箇月以上修業スルコト  
 能ハサルトキハ保證人連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ  
 一年以内休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添附ス  
 ルヲ要ス休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノトキヨリ原級ノ  
 課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖モ其ノ事故消滅シタルトキハ出  
 願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十二條 徵兵令ニ依リ軍務ニ服役スル學生ハ學校長ノ許可ヲ得テ

其ノ間休學スルコトヲ得

前項ニ依リ休學シタル學生服役ヲ終リタルトキハ原學年ニ復歸スルコトヲ得

第二十三條 學生改姓改名改印轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ但改姓改名轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添附スルヲ要ス

第二十四條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學ナシ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應シ又ハ報酬ヲ受クヘキ業務ニ従事スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出スヘシ

第二十五條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルヲ要ス

第二十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學業劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 四、授業料ヲ納付セサル者

#### 第五章 表彰及懲戒

第二十七條 品行方正學術優等ナル學生其ノ他其ノ行爲他ノ模範トナスニ足ルト認メタル學生ハ之ヲ選拔シテ特待生トナシ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

特待生ヨリハ授業料ヲ徴收セス

特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生ヲ免ス

第二十八條 校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト認ムル學生ニハ其ノ輕重ニ依リ戒飭ヲ加ヘ或ハ謹慎停學又ハ放校ヲ命ス

第六章 試験卒業及稱號

第二十九條 試験ヲ分チテ臨時試験及定期試験トス  
臨時試験ハ學年中教官ノ見込ヲ以テ臨時之ヲ行ヒ定期試験ハ學期ノ終リニ於テ之ヲ行フ

第三十條 試験ハ口述筆記又ハ實驗ヲ以テ之ヲ行ヒ其ノ成績ヲ按シ之ニ評點ヲ附シ一科目一百點ヲ以テ最高點トス

第三十一條 實習點ハ擔任教官ノ見込ニ依リ平素ノ成績ヲ按シ之ニ評點ヲ附シ一百點ヲ以テ最高點トス

第三十二條 各學科目ノ學年評點ハ各試験評點ノ和ヲ其ノ試験回數ヲ以テ除シタルモノトス

第三十三條 學年ノ成績ハ學科點實習點及平素ノ勤惰行狀等ヲ參酌シテ之ヲ定メ其ノ及落ヲ決ス

第三十四條 試験ニ缺席シタル者ニハ零點ヲ附ス但シ疾病又ハ止ムヲ

得サル事故ノ爲缺席シタル者ハ詮議ノ上追試験ヲ行フコトアルヘシ

第三十五條 第三學年ノ終リニ於テ卒業論文ヲ提出セシム

第三十六條 第三學年ノ課程ヲ修了シ且卒業論文ノ成績適當ナリト認めタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十七條 本校卒業生ハ其ノ卒業シタル學科ニ從ヒ農學得業士林學得業士農藝化學得業士ト稱スルコトヲ得

第七章 服 制

第三十八條 學生ハ本校制定ノ被服ヲ着用スヘシ但シ實習實驗ノ際特別ノ服裝ヲ要スル場合ハ此ノ限ニアラス

第八章 研 究 生

第三十九條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ願ニ依リ二年以内研究生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條 研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條 研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報文ヲ作り指導教官ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

### 第九章 選 科 生

第四十二條 各學科ノ學科目中其ノ一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條 選科生ハ教授上差支ナキ場合ニ限り資格銓衡ノ上入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十四條 選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

### 第十章 授業料及實習實驗費

第四十五條 授業料ハ一學年本科生ハ金六拾五圓選科生ハ金參拾五圓トシ研究生ヨリハ之ヲ徴收セス

第四十六條 授業料ハ年二期ニ分納セシム其ノ分納金額及徴收期間ハ左ノ如シ

第一期四月一日ヨリ四月二十日マテ本科生金參拾五圓選科生金拾八圓

第二期十一月一日ヨリ十一月二十日マテ本科生金參拾圓選科生金拾七圓

第四十七條 學生研究生及選科生ヨリハ實習實驗ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徴收スルコトアルヘシ

第四十八條 授業料及實習實驗費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖モ之ヲ返付セス

第四十九條 停學ヲ命シ又ハ休學ヲ許可シタル者ハ次期ヨリ其ノ期間

授業料ヲ徴收セス

第五十條 休學又ハ停學ヲ解除シタルトキ若ハ第二十七條ニ依リ特待生ヲ免セラレタル者ヨリハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徴收ス

第五十一條 大正四年文部省令第七號實業學校教員養成規程ニ依リ學資補給ヲ受クル學生ニハ授業料ヲ徴收セス

第五十二條 卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル學生ニ對シテハ願ニ依リ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ

前項ニ據リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一實業學校教職ニ從事スル義務アルモノトス

第五十三條 授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スルモノトス

第五十四條 授業料ヲ定日マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付

ヲ怠ル場合ハ第二十六條ニ依リ處分ス

第十一章 寄 宿 舍

第五十五條 寄宿舍ニ關スル規則ハ別ニ之ヲ定ム

第一號書式(省略)

第二號書式(省略)

第三號書式(省略)

## 第五 細 則

三六

### 一、事務規程

#### 第一章 總 則

- 第一條 校務ヲ處理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課及農學部、林學部、農藝化學部並ニ圖書館ヲ置ク
- 農學部ニハ實驗農場及植物園ヲ林學部ニハ演習林及林學實習場ヲ附屬セシム
- 第二條 各部局ニ長ヲ置ク
- 第三條 各部局長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス但シ學生課長ハ生徒監ヲ以テ之ニ充ツ
- 第四條 校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニ非サレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ部局長ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

トヲ得

- 第五條 各部局長ハ其ノ名ヲ以テ相互ニ文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得
- 第六條 部局長ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員ノ勤怠ヲ監督シ意見アルトキハ學校長ニ具申スヘシ
- 第七條 部局長事故アルトキハ所屬主席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時宜ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ
- 第八條 所屬職員ハ部屬長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ處理シ取扱事項ニ關シ其ノ責ニ任ス
- 第九條 主管事務ニシテ他ノ部局ト關聯スルモノアルトキハ總テ合議スヘシ
- 第十條 事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指揮ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

#### 第二章 分 掌

三七

第十一條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 二、學校長ノ官印及學校印ノ管守ニ關スル事項
- 三、儀式竝ニ會議ニ關スル事項
- 四、當直竝ニ非常事變ニ關スル事項
- 五、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 六、公文書(學校長名ヲ署スルモノニ限ル)ノ淨書ニ關スル事項
- 七、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 八、職員其ノ他ノ進退賞罰及身分竝ニ服務ニ關スル事項
- 九、敘位及敘勳ニ關スル事項
- 一〇、職員ノ名簿及履歷書竝ニ出勤簿ニ關スル事項
- 一一、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
- 一二、諸規則ノ制定及改廢ニ關スル事項

- 一三、記錄及學校一覽ノ編纂竝ニ日誌ニ關スル事項
  - 一四、統計報告竝ニ所得税法第五十六條ノ調書提出ニ關スル事項
  - 一五、卒業證書ニ關スル事項
  - 一六、卒業者ノ教員免許ニ關スル事項
  - 一七、職員ノ旅客運賃割引證ニ關スル事項
  - 一八、職員ノ願伺届出ニ關スル事項
  - 一九、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項
- 第十二條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、學校經濟ニ關スル事項
- 二、經費及諸收入ノ豫算竝ニ決算ニ關スル事項
- 三、金錢ノ收支及保管ニ關スル事項
- 四、物品ノ購入及修繕竝ニ其ノ出納保管ニ關スル事項
- 五、官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項



六、校舍ノ建築及修繕ニ關スル事項

七、本校内外ノ掃除及除雪等ニ關スル事項

八、校舍及校地ノ警備取締ニ關スル事項

九、傭人ノ進退賞罰及取締ニ關スル事項

一〇、不用物品ノ處分ニ關スル事項

一一、電燈電話電鈴給水及瓦斯電氣ニ關スル事項

一二、會計ニ關スル諸規則ノ制定及改廢ニ關スル事項

一三、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項

一四、其他會計ニ關スル一切ノ事項

第十三條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、講堂教室、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項

二、授業及休業並ニ學科目ニ關スル事項

三、教授分擔ニ關スル事項

四、授業功程等ニ關スル事項

五、學生募集ニ關スル事項

六、學生ノ入學及學籍ニ關スル事項

七、成績考査進級卒業ニ關スル事項

八、成績表及成績證明ニ關スル事項

九、修學旅行、校外實習等ニ關スル事項

一〇、學事統計及報告ニ關スル事項

一一、學生出席簿並ニ卒業者臺帳ニ關スル事項

一二、教官會議ニ關スル事項

一三、教務ニ關スル諸規則ノ制定及改廢ニ關スル事項

一四、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項

一五、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十四條 學生課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、學生ノ訓育竝ニ賞罰ニ關スル事項
- 二、學生ノ風紀取締及被服ニ關スル事項
- 三、學生ノ集會及揭示竝ニ印刷物ニ關スル事項
- 四、學生ノ衛生及身體検査ニ關スル事項
- 五、學生ノ兵役ニ關スル事項
- 六、學生ノ休學退學其ノ他願、届出等ニ關スル事項
- 七、學生ノ入退舍、外泊、宿所、寄留及入院旅行ニ關スル事項
- 八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
- 九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
- 一〇、學生ニ關スル諸規則ノ制定及改廢ニ關スル事項
- 一一、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 一二、其ノ他學生ニ關スル一切ノ事項

第十五條 農學部林學部農藝化學部ニ於テハ各左ノ事項ヲ監掌ス

- 一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項
  - 二、前號ニ伴フ建物試験地及物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 三、教授要項ノ編纂整理ニ關スル事項
  - 四、教授分擔ニ關スル事項
  - 五、農學部ニ於テハ實驗農場竝ニ植物園ニ關スル事項
  - 六、林學部ニ於テハ演習林竝ニ林學實習場ニ關スル事項
  - 七、事業功程等ニ關スル事項
  - 八、見學旅行等ニ關スル事項
  - 九、其ノ他當該學科ニ關スル事項
- 第十六條 修身ハ學校長體操ハ生徒監ニ於テ之ヲ監掌ス
- 第十七條 圖書館ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、圖書ノ購入、出納竝ニ整理保管ニ關スル事項
  - 二、圖書貸付竝ニ閱覽ニ關スル事項

- 三、書庫及閱覽室ノ整理ニ關スル事項
- 四、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 五、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十八條 實驗農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、農場ノ經營管理ニ關スル事項
- 二、農事ノ實驗實習ニ關スル事項
- 三、家畜ノ飼養管理實習並ニ畜產製造實習ニ關スル事項
- 四、養蠶實習ニ關スル事項
- 五、生産物ノ處理ニ關スル事項
- 六、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 七、其ノ他農場ニ關スル一切ノ事項

第十九條 演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項

二、森林演習ニ關スル事項

- 三、生産物ノ處理ニ關スル事項
- 四、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 五、其ノ他演習林ニ關スル一切ノ事項

第二十條 林學實習場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、林學實驗實習ニ關スル事項
- 二、生産物處理ニ關スル事項
- 三、所屬公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 四、其ノ他林學實習場ニ關スル一切ノ事項

第二十一條 植物園ニ於テハ之ニ關スル一切ノ事務ヲ掌ル

二、物品會計規程細則

第一章 總 則

第一條 本校所屬物品ノ保管及出納ハ物品會計規則並ニ文部省直轄各

部物品會計規程ニ基キ此ノ細則ニ依リ處理スヘシ

第二條 物品ヲ大別シテ備品消耗品ニ分テ備品ノ用途ヲ專用共用ノ二トス共用トハ各部局ニ於テ共用スルモノヲ謂ヒ專用トハ職員各自ニ專用スルモノヲ謂フ但シ備品消耗品ノ區別ハ其ノ性質及用途ニ依リ之ヲ定ム

第三條 各部局ニ物品監守者及物品取扱主任ヲ置キ備品ノ監守及消耗品取扱ノ責ニ任セシム但シ職員各自専用ノ物品ハ各自保管ノ責ニ任セシム

第四條 各部局ニ於ケル監守者ノ監守區域ハ別ニ學校長ノ定ムル所ニ據ル

## 第二章 保管及出納

第五條 物品ノ保管及出納ハ學校長ノ命令ニ依リ物品會計官吏之ヲ行フ

第六條 通常所用ノ物品ハ物品會計官吏其ノ年度内ノ所要高ヲ豫定シ學校長ノ決裁ヲ受ケ一回又ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シタル後之ヲ藏置シ請求ニ應シテ支給スヘシ

第七條 臨時所要ノ物品ハ備品ニ在リテハ監守者消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ノ請求ニ依リ物品會計官吏ニ於テ其ノ都度學校長ノ決裁ヲ受ケ購入ヲ爲シ之ヲ支給スヘシ

第八條 生産及寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ見積價格ヲ附シ學校長ノ決裁ヲ經テ受入ノ手續ヲ爲シタル後處理スヘシ

第九條 物品會計官吏其ノ受入タル物品ヲ支給セムトスルトキハ備品ニ在リテハ記號ヲ附シ備品支給簿ニ登記シ且所定ノ欄ニ領收印ヲ徴シタル後之ヲ物品監守者ニ交付スヘシ消耗品ニ在リテハ物品出納簿ニ拂出ノ登記ヲ了シ且所定ノ物品請求用紙ニ領收印ヲ徴シタル後之ヲ物品取扱主任ニ交付スヘシ

第十條 各部局所要ノ物品ハ所定ノ物品請求用紙ニ品目數量所要ノ事由等ヲ記入シ監守者又ハ物品取扱主任ヨリ物品會計官吏ニ請求スヘシ

第十一條 學術上ノ機械ノ製作及修理ニ特殊ノ注意ヲ要スルカ又ハ當業者ヲ選擇スル必要アルモノハ當該教室監守者ニ於テ圖面及仕様書又ハ當業者ノ見積書ヲ徴シ(外國製品等ニシテ見積ヲ徴スル能ハサルトキハ調書ヲ添附)物品會計官吏ニ請求スヘシ

第十二條 物品監守者ハ備品監守簿ヲ物品取扱主任ハ消耗品受拂簿ヲ設ケ物品ノ交付ヲ受ケタルトキハ其ノ都度之ヲ登記シ備品ニ在リテハ其ノ備付場所ヲ監守簿ニ記載シ常ニ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ職員各自ノ請求ニ應シテ之ヲ支給シ帳簿ノ當該欄ニ領收印ヲ徴スヘシ

第十三條 各部局ニ於テ不用ニ歸シタル物品アルトキハ物品監守者又

ハ物品取扱主任ハ所定ノ物品返付書ニ品名番號及數量等ヲ記入シ之ヲ監守簿ニ添ヘ現品ト共ニ物品會計官吏ニ提出シ監守簿又ハ受拂簿ニ受領ノ證印ヲ受クヘシ

第十四條 物品會計官吏物品ノ返付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ將來使用ノ見込アルモノハ保管ノ手續ヲ爲シ使用ノ見込ナシト認メタルモノハ處分案ヲ具シ學校長ノ決裁ヲ請フヘシ

第十五條 各部局ニ於テ物品ノ修理ヲ要スルモノアルトキハ直ニ現品ヲ物品會計官吏ニ提示シ修理ノ請求ヲ爲スヘシ

第十六條 不用物品若ハ生産製造物品ノ拂下ヲ爲サムトスルトキハ物品會計官吏該調書ヲ作り學校長ノ決裁ヲ經テ處理スヘシ

第十七條 各部局ニ於テ物品ヲ毀損シ又ハ紛失シタルトキハ監守者又ハ取扱主任其ノ品名數量及番號等ヲ調査シ顛末ヲ具シ物品會計官吏ニ報告スヘシ

第十八條 物品會計官吏前條ノ報告ヲ受ケタルトキハ始末書ヲ徴シ案ヲ具シテ學校長ノ決裁ヲ請フヘシ

第十九條 物品監守者又ハ物品取扱主任更迭シタルトキハ前任者及後任者ニ於テ物品會計官吏立會ノ上監守簿ト現品トヲ對照シ其ノ引繼ヲ爲シタル年月日ヲ帳簿ノ餘白ニ記入シ且各自記名捺印スヘシ

第二十條 甲乙監守者間ニ於テ其ノ保管物品ノ受渡ヲ必要トスルトキハ其ノ旨物品會計官吏ニ通告ノ上之カ受渡ヲ爲スヘシ

第二十一條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏ニ於テ左ノ各號ニ依リ之ヲ監督スヘシ  
一、各部局ノ消耗品受拂簿ヲ毎月一回消耗品出納簿ニ照査スルコト  
二、毎年一回物品出納簿、備品支給簿、備品監守簿及消耗品受拂簿ニ依リ各部局ニ就キ現品ヲ査閲シ學校長ニ報告スルコト  
三、前號ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使

用上ニ關シ意見アルトキハ學校長ニ申告シ其ノ處理ヲ求ムルコト

第三章 檢 閱

第二十二條 物品檢閲ヲ分チテ定期臨時ノ二トス  
定期檢閲ハ毎年六月之ヲ施行シ臨時檢閲ハ臨時必要ノ都度之ヲ施行ス

第二十三條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ學校職員中ヨリ學校長之ヲ命ス

委員長及委員ノ任期ハ一箇年トス

第二十四條 物品檢閲委員ノ檢査スヘキ事項左ノ如シ

- 一、物品保管ノ適否
- 二、備品使用ノ適否
- 三、消耗品消費ノ適否
- 四、物品缺損ノ有無

五、其ノ他必要ナル事項

第二十五條 物品檢閲ノ際ハ在庫物品ニ就キテハ物品會計官吏使用中ノ物品ニ就キテハ物品監守者又ハ物品取扱主任其ノ席ニ列シ検査委員ノ質問ニ答フヘシ

第二十六條 物品檢閲委員ニ於テ検査上故障ナシト認メタルトキハ簿冊ニ檢印シテ之ヲ證スヘシ若シ故障アルトキハ當該責任者ヨリ始末書ヲ徴スルコトヲ得

第二十七條 物品檢閲委員其ノ検査ヲ了シタルトキハ検査ノ顛末書ニ意見ヲ具シ委員長ヲ經テ學校長ニ申告スヘシ

第四章 諸帳簿

第二十八條 物品會計官吏ハ物品ノ保管出納ヲ明確ニスル爲メ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一、備品出納

二、圖簿書原簿

三、消耗品出納簿

四、備品支給簿

第二十九條 物品監守者又ハ物品取扱主任ハ物品ノ保管出納ヲ明確ナラシムル爲メ左ノ帳簿ヲ設クヘシ

一、備品監守簿

二、消耗品受拂簿

三、郵便切手受拂簿

三、學校醫職務規程

第一條 學校醫ハ學校長ノ命ヲ受ケ學校衛生ニ關スル職務ニ從事シ學校長ノ諮問ニ應シテ意見ヲ述フヘシ

第二條 學校醫ハ毎月二回教授時間内ニ登校シ衛生上ノ事項ヲ視察スヘシ





用スルコトヲ得

第四條 實驗實習ニ用フル作業服ハ別ニ之ヲ示ス

第五條 制服ノ着用期間ハ左ノ如シ

冬 服 自十月一日  
至五月十五日

夏 冬 自五月十六日  
至九月三十日

脚絆ハ體操ノ授業其ノ他必要ニ應シ之ヲ着用ス

第六條 新ニ入學シタル者ハ五月十五日迄ニ制服及作業服ヲ調製スヘシ

第七條 研究生選科生ノ制服ハ本服制ニ準ス但シ襟章ノ數字ヲ附セサルモノトス

五、學生心得

本校學生タルモノハ左ノ各項ヲ格守スヘシ

一、校規ヲ嚴守スヘシ

二、教官ニ對シ禮儀ヲ重シ其ノ命令ヲ遵奉スヘシ

三、課業ヲ受クル際ハ制服ヲ着用スヘシ

代用服ヲ着用セムト欲スルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

四、外出スルトキハ制服制帽又ハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

五、缺課スルモノハ本校所定ノ用紙ニ依リ學生課ニ届出ツヘシ但シ

(イ) 缺課シタルモノハ翌日迄、缺課セムトスルモノハ前日届出ツヘシ

(ロ) 缺課一週間以上ニ及フモノハ醫師診斷書若ハ保證人ノ連署ヲ

要ス

(ハ) 缺課全日ニ涉ラサルモノハ其ノ學科目ヲ附記スヘシ

缺 課 届

一、缺 課 日 時

自

月

日

一、缺課學科目  
一、理由

大正 年 月 日

學科 年生

某 印

保證人

某 印

學校長宛

六、授業時間外ニ於テハ教官ノ許可ナクシテ教室、實驗室等ニ出入スヘカラス

七、校内及農場ニ於ケル生産物ハ之ヲ私用スヘカラス

八、告示ハ之ヲ掲ケタル日ヨリ一般ニ了知シタルモノト見做スニヨリ常ニ能ク注意スヘシ

告示所ハ學生控室内ニ之ヲ設ク

九、校ノ内外ヲ問ハス總テ集會セムトスル場合又ハ團體ヲ結ハムトスル場合ハ豫メ學生課ノ認可ヲ受クヘシ

一〇、校外ニ於テ揭示、公告、其ノ他類似ノコトヲ爲サムト欲スルモノハ豫メ學生課ノ認可ヲ受クヘシ

二、校外ニ於テ開催セラル、種々ナル會合ニ參加セムトスル場合ハ豫メ學生課ノ認可ヲ受クヘシ

三、酒類ハ素行上嚴ク之ヲ戒ム

三、恭儉ヲ旨トシ體面ヲ汚損スルノ虞レアル場所ニ出入スヘカラス

四、衛生ニ注意シ攝生ヲ重ンシ特ニ傳染病ニ就キテ訓戒ヲ怠ルヘカラス

六、通學生取締規則

第一條 通學生ヲ各科各級ニ分チ委員ヲ置ク委員ハ教官並學生課員ノ指揮ヲ受ケ風紀ニ注意シ兼テ命令其ノ他ノ事項ノ傳達ヲ掌ルモノト

ス

第二條 通學生ハ每學期ノ始ニ於テ本校所定ノ用紙ニヨリ學生課ニ宿所ヲ届出ツヘシ

第三條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムル時ハ轉宿セシムルコトアルヘシ

第四條 通學生ニシテ一週間以上歸省入院若ハ旅行スルトキハ其ノ事由ヲ具シ學生課ニ届出ツヘシ

第五條 通學生ハ本校名ヲ肩書セル名札ヲ其ノ宿所ニ掲ケ置クヘシ

宿所届様式

縦九寸

分一寸二横	
○ 宿所	市 町 村
	番地
	方
○ 寄留セル世帯主ノ下ニ其ノ世帯主トノ關係ヲ記セ	科 姓 年生 名

七、寄宿舍規則

第一條 寄宿舍ハ學生修養ノ場所ナリ自己ノ責任ヲ自覺シ公德ヲ重シシ規律アル共同生活ヲ營ミ教育ノ趣旨ヲ完フセムコトヲ期スヘシ

第二條 寄宿舍ニ委員長、副委員長各一名、委員若干名及各室ニ室長一名ヲ置ク

一、委員長及副委員長ハ每學期ノ初メニ於テ委員ノ互選ニ依リシ候補者二名ノ内ヨリ學生課之ヲ任命ス其ノ任期ハ一學期間トシ重任ヲ妨ケス

委員長ハ寮ノ内務諸般ノ事務ヲ統括シ併テ學生課トノ交渉ニ當ルモノトス

副委員長ハ委員長不在中其ノ職務ヲ掌ルモノトス

二、委員ハ各寮三名トシ每學期ノ初メニ於テ寮生互選シ其ノ任期ヲ一學期間トシ重任ヲ妨ケス

委員長ヲ補佐シ寮務ヲ分擔ス

三、室長ハ每學期ノ初メニ於テ室員互選シ其ノ任期ヲ一學期間トス  
委員ヲ補佐シ專ラ其ノ室ノ風紀、衛生、整頓、備品ノ取締リ及修理申立  
等ノコトヲ掌ル

第三條 舍生ハ規約ヲ定メ學校長ノ認可ヲ得テ之ヲ實行スヘシ規約ヲ  
以テ定ムヘキ事項左ノ如シ

一、舍内ノ秩序、風紀竝ニ衛生ニ關スル事  
二、其ノ他必要ナル事項

第四條 配當セラレタル室ヲ濫リニ變更スルヲ許サス

第五條 室ノ内外ヲ問ハス凡ソ營造物及備品ハ勿論相互所有ノ物品ニ  
對シ德義ヲ念トスヘシ

舍内ノ物品ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ直ニ學生課ニ届出ツヘシ  
之ヲ發見セシトキ亦同シ

第六條 外來人トノ面會ハ總テ應接室ニ於テ之ヲ行ヒ自室ニ誘引スヘ

カラス但シ學生課ノ許可アリタル場合ハ此ノ限りニ非ス

第七條 臨時外出、歸省、旅行、外泊、入院セムトスル者ハ學生課ノ許可ヲ受  
クヘシ

歸舍時限ニ遅レタル者ハ事實ヲ認めヘキ證明書ヲ學生課ニ差出ス  
ヘシ

歸省、旅行、外泊、入院ノ許可ヲ受ケタル者ハ歸舍ノ際宿泊先ヲ證明スル  
保證人ノ届書ヲ學生課ニ差出スヘシ

第八條 毎月一回指定ノ日時ニ於テ大清潔ヲ施シ學生課ノ検査ヲ受ク  
ヘシ

學生課ハ臨時ニ各室整頓清潔検査ヲ行フコトアルヘシ

第九條 舍内ニ於テ金錢物品ヲ紛失シ又ハ拾得シタルトキハ速ニ學生  
課ニ届出ツヘシ出先ニ於テ事故出來シタル場合亦然リ

第十條 食費ハ寄宿料徴收規程ヲ準用シ其ノ前月分ヲ寄宿料ト共ニ會計課ニ納ムヘシ

第十一條 起床就褥、入浴、喫飯、點呼、外出時間等ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム

八、寄宿料徴收規程

第一條 本校寄宿舎ニ入舎スル者ニ對シテハ本規程ニ依リ寄宿料ヲ徴收ス

第二條 寄宿料ハ月額金貳圓トス但シ四月、七月、八月ニ於テ在舎日數半月ニ滿タサル者其ノ他ノ月ニ於テハ十六日以後入舎シタル者ニハ月額金ノ半額ヲ又全月在舎セサル者ニハ其ノ全額ヲ減免ス

第三條 寄宿料徴收期間ハ毎月一日ヨリ五日迄トス但シ四月、八月、九月、一月ハ各月十一日ヨリ十五日迄トズ

第四條 寄宿料徴收期間ヲ過キテ入舎スル者ノ寄宿料納付期間ハ入舎當日ヨリ五日以内トス但シ翌月ニ渡ルヘカラス

第五條 寄宿料徴收以前ニ退舎セムトスル者ハ所定ノ徴收期間ニ拘ハラス其ノ月分ノ寄宿料ヲ即納スヘシ

第六條 既納ノ寄宿料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

第七條 寄宿料ヲ定日迄ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ仍正當ノ事由ナク納付ヲ怠リタル者ニ對シテハ本校規則第二十八條ニ依リ之ヲ處分ス

九、圖書館規程

第一章 總 則

第一條 本館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ參考研學ニ資スルヲ以テ目的トシ傍ラ校外者ノ閱覽ニ供ス

第二條 圖書ヲ分チテ左ノ二種トス

第一普通圖書、第二貴重圖書

第三條 本館員ハ學校長ノ命ヲ受ケ圖書館ニ關スル百般ノ事務ヲ分掌

シ併セテ其ノ經營發展ノ責ニ任ス

第四條 本館員ノ外圖書ノ檢索出納ヲナスコトヲ得ス但シ左記ノ者ハ此限リニアラス

(一)本校職員

(二)特ニ學校長ヨリ許可セラレタル學生及校外者、

前項(二)ニ該當スル者ノ圖書檢索ハ其ノ都度檢索願簿ニ姓名等ヲ記入シ圖書館長ノ許可ヲ受クヘシ

第五條 檢索ニ際シ函内圖書ノ位置ヲ變更シ若ハ錯亂スル事ヲ嚴禁ス

第六條 何人ヲ問ハス書庫内ニ於テ一切火氣ノ使用ヲ禁ス

第七條 教官學生等ノ閱覽ニ供スルノ目的ヲ以テ圖書ヲ本館ニ委託セムト欲スル者アルトキハ本館之ヲ承ケテ保管シ本館ノ圖書ト同一ノ取扱ヲナスヘシ但シ之ヲ館外へ貸付セス

第八條 圖書若ハ圖書購入資金ノ寄贈ヲ受ケタル場合ハ之ヲ寄贈簿ニ

登録シ圖書ニハ寄贈者ノ氏名等ヲ記入シ其ノ素志ヲ全フスルニ遺憾ナカラシムヘシ

第九條 本館ハ本校所定ノ休日ノ外毎日開館ス但シ開館時間ハ學校長ノ許可ヲ經テ圖書館長是ヲ定メ臨時開閉スルコトアルヘシ此場合ハ其ノ都度之ヲ揭示ス

第十條 圖書ヲ辨償セシメ若ハ貸付閱覽ヲ停止スヘキ者アリト認ムルトキハ圖書館長意見ヲ具シテ學校長ニ上申スヘシ

第二章 圖書閱覽

第一條 本館ノ圖書ヲ閱覽セムトスルモノハ圖書館ニ申出テ圖書閱覽許可證ノ交付ヲ受クヘシ

第二條 圖書閱覽許可證ハ每年四月之ヲ交付ス但シ同證ハ他人ニ轉貸ヲ許サス同證紛失ノ場合ハ速ニ届出再交付ヲ受クヘシ

第三條 圖書ヲ閱覽セムト欲スルモノハ閱覽證用紙ヲ受取り所定ノ記

入ヲナシタル上許可證ト共ニ係員ニ差出スヘシ

第四條 一時ニ閲覽シ得ヘキ圖書ノ冊數ハ三冊ヲ超過スルコトヲ得ス

第五條 本校職員以外ノ者ニシテ貴重圖書ヲ閲覽セムト欲スルモノハ

其ノ學科擔任教官ノ保證印ヲ得タル後ニアラサレハ閲覽ヲ許サス

第六條 圖書ノ閲覽ハ必ス閲覽室ニ於テ爲スヘシ之ヲ室外ニ携帯スル

コトヲ嚴禁ス但シ本校職員ハ此ノ限ニアラス

第七條 閲覽室中特定ノ場所ニ備付アル圖書ハ各自閲覽席ニ携帯スル

コトヲ得但シ閲覽後ハ必ス元ノ位置ニ直シ置クヘシ

第八條 閲覽室ニ於テハ專ラ靜肅ヲ守リ、音讀、雜話、喫煙其他他人ノ妨害

トナルヘキ行爲アルヘカラス

第九條 圖書文房具類ヲ除ク外物品ヲ閲覽室内ニ携帯スヘカラス

第十條 圖書ハ凡テ鄭重ニ繕閱シ一切書入等ヲ施スヘカラス

萬一之ヲ汚染毀損若ハ紛失スル等ノコトアリタルトキハ代本又ハ代

價ヲ以テ之ヲ辨償セシメ且爾後閲覽ヲ許ササル事アルヘシ

第十一條 本規程ニ違背シタル者ハ直ニ閲覽室ヨリ退去ヲ命シ又ハ一

定ノ期間若ハ永久ニ閲覽室ニ出入ヲ禁シ或ハ別ニ相當ノ處分ヲ爲ス

コトアルヘシ

### 第三章 校外者圖書閲覽

第一條 校外者ニシテ閲覽ノ許可ヲ受ケムトスルモノハ本校職員ノ紹

介ニ依リ所定ノ願書ヲ圖書館ニ差出シ學校長ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 許可ヲ與ヘタル者ニハ校外者圖書閲覽許可證ヲ交付ス

第三條 許可ヲ得タル者ニシテ圖書ヲ閲覽セムトスルトキハ本校學生

ト同シク所定ノ閲覽手續ヲ履ミテ借受クヘシ

第四條 閲覽時日心得及制裁等ハ總テ本校圖書閲覽規程ニ據ルモノト

ス

第五條 許可證ノ有功期限ハ發行後滿一箇年トシ他人ニ轉貸スルコト

ヲ許サス同證紛失ノ場合ハ速ニ届出ツヘシ

第六條 校外閱覽者ハ本館以外ノ本校校舍等ニ猥リニ出入スルコトヲ許サス

#### 第四章 圖書貸付

第一條 本館ノ圖書ヲ借用シ得ヘキ者ハ本校職員並圖書借覽許可證ノ交付ヲ受ケタル學生トス圖書借覽許可證ハ毎年四月之ヲ交付ス

第二條 教授及事務上參考ノ爲特ニ必要ノ圖書ハ各部局ニ於テ借受ケ之ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得當該部局主管者又ハ教官保管ノ責ニ任スルモノトス

第三條 貴重圖書辭書及諸學科ニ通スル參考書ハ館外ニ貸出セス但教授上必要ト認ムル時ハ特ニ學校長ノ許可ヲ得テ貸出スコトアルヘシ

第四條 借用シ得ヘキ圖書雜誌ノ冊數及期限ハ本校職員及學生ハ二冊以内一週間トス但シ供覽圖書ヲ期日後引續キ借覽セムト欲スルトキ

ハ一應返納シテ調査ヲ受ケ他ニ同書供覽希望者ナキトキハ再ヒ之ヲ借覽スルコトヲ得

第五條 貸付シタル圖書ハ調査若ハ教授上必要アル場合ニハ期限内ト雖臨時之ヲ返納セシメ又ハ一定ノ期間内圖書ハ貸付ヲ停止スルコトアルヘシ

第六條 本校學生ハ春夏冬各期休業前七日限り借用圖書一切ヲ返納スヘシ

第七條 本校學生ニシテ各期休業中圖書ヲ借覽セムトスル者ハ願書ヲ提出シ擔當教官ノ認可ヲ受クヘシ

第八條 私人借覽ノ圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

第九條 一人ニシテ同一ノ書二冊ヲ同時ニ借覽スルコトヲ得ス

第十條 新ニ登錄ノ圖書ハ一週間館内ニ於テ陳列シタル後ニアラサレハ貸付セサルモノトス



第十一條 本校職員ニシテ轉任退職等ノ際又ハ學生ニシテ卒業退學等ノ際ニハ借用圖書ヲ直ニ返納スヘシ

第十二條 圖書ハ凡テ鄭重ニ緝閱シ一切書入等ヲ施スヘカラス圖書ヲ汚損シ紛失スル等ノ事アリタルトキハ代本又ハ代價ヲ以テ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十三條 圖書借用者ニシテ本規程ニ違背シタルモノハ爾後一定ノ期間若ハ永久ニ貸付ヲ禁止シ或ハ別ニ相當ノ處分ヲ爲スコトアルヘシ

#### 一〇、實驗農場規程

第一條 實驗農場ノ事務ヲ耕園部畜産部及養蠶部ニ分ツ

第二條 各部ニ主任及係員ヲ置ク

主任ハ實驗農場長ノ旨ヲ受ケ其ノ部整理ノ責ニ任シ係員ハ各主任ノ指揮ヲ承ケ部内ノ事務ニ従事ス

第三條 各部ニ於テ處理スヘキ業務左ノ如シ

一、耕園部 種藝及園藝ニ關スル一切ノ事項

温室農業動力竝農夫ノ取締其ノ他他部ノ主管ニ屬セサル事項

二、畜産部 畜産ニ關スル一切ノ事項

放牧竝牧草地ニ關スル事項

三、養蠶部 養蠶及栽桑ニ關スル一切ノ事項

第四條 實驗農場長ハ毎年各部ノ主任ニ左ノ事項ニ關スル書類ヲ作製セシメ農學部長ヲ經テ學校長ニ提出スルコトヲ要ス

一、三月 翌年度ノ事業計畫

一、四月 前年度ノ事業成績竝收支計算

第五條 實驗實習ニ關スル事項及生産物取扱ニ關スル事項ハ各部主任ニ於テ處理スルモノトス

第六條 各學科ノ部員ニシテ本農場ニ於テ實驗セムトスルトキハ豫メ本場長及主任ノ合意ヲ求ムヘキモノトス

第六職員

修身 學校長

正五位勳四等 農學士 草場 榮喜

教授

畜產學 畜產化學 英語

農學部長 學生課長 教務課長

生徒監 從五位勳六等 農學士

米山 豐

森林化學及林產製造 林產化學 林學大意

林學部長 正六位 農學士

高島 規孝

農政學 農業經營學

化學 無機化學 有機化學 分析化學 化學實驗

農藝化學部長 從六位 農學士

小瀨 伊俊

園藝學 農場實習

實驗農場長 從六位 農學士

伊藤 秀雄

養蠶學 動物學 森林動物學 實驗遺傳學 動物學實驗 養蠶實習

正七位 農學士 奧村 清久

木材工藝學 應用力學 森林數學 木材工藝學實習 應用機械學 應用機械學實習

圖書館長

正七位 農學士 小出 重治

氣象學 物理學 礦物及地質學 地質及土壤學

正七位 農學士 蜷川 睦之助

醱酵化學 應用菌學 生物化學 營養化學 獨語 應用菌學實驗 化學實驗

肥料學 土壤學 物理化學 英語 化學實驗

經濟學及財政學 經濟學 法學通論 森林經理學 森林法規 獨語

植物學 森林植物學 植物病理學 植物學實驗 森林植物學實驗

外國留學中

從七位 農學士 樋浦 誠

森林土木工學 造林學及森林美學 森林利用學 應用數學 造林學實習 森林土木工學實習

陸軍輜重兵少尉

從七位 農學士 野崎 清

農業機械學 農業工學 獨語

從七位 農學士 大枝 益賢

配屬將校

軍事教練

步兵第六十八聯隊附 陸軍歩兵少佐 正六位勳四等

小野 寺將行

助教授

作物學 農場實習

農學得業士 小野 倫也

昆蟲學 動物實驗 病蟲害論 森林動物實驗

農學得業士 飯島祐次郎

森林數學 森林數學實習 林學實地演習

林學得業士 青木明治

化學實驗

農學得業士 櫻田市次

森林測量學 森林測量學實習及製圖 林學實地演習

陸軍步兵少尉 林學得業士 高園久次郎

講師 (囑託順)

體操

陸軍步兵中佐 正五位勳三等 功五級 村田利行

修身 英語 獨語

文學士 鈴木榮太郎

農場實習

教務課兼勤 從六位 丹羽信吉

昆蟲學 動物實驗 森林動物學

名和昆蟲研究所技師 名和梅吉

稻作實習

岐阜縣立農事試驗場長 從五位勳六等 農學士 橫山基吉

書記

會計課長

野口貞

庶務課長

(兼)

會計課

部屬

中川月洲

會計課

大石信一

雇員

學生課

早川光司

圖書館兼會計課

庶務課

內田孫三

助手

養蠶學教室助手

高須利男

農藝化學科助手

渡部竜雄

副手

實驗農場副手

額盛量

林學科副手

植物學教室副手

農藝化學科副手

校 醫

岐阜縣病院長

正醫學博士 坂田清造  
醫學博士 今尾唯市  
愛知醫學士

石井泰三  
小島市治  
三村忠雄

### 第七 學生

#### 一、學生數

(大正十四年九月末日現在)

學年別	學科別			計
	第一學年	第二學年	計	
第一學年	三七	二四	二六	八七
第二學年	三八	二八	二九	九五
計	七五	五二	五五	一八二

備考 入學以來農學科第二學年ニ三名第一學年ニ一名計四名退學ス林學科第二學年ニ二名休學第一學年ニ一名退學ス農藝化學科第二學年ニ一名退學ス

#### 二、學生姓名

(大正十四年九月末日現在)

農學科

第二學年

赤座正三	岐阜	伴秀喜	千愛知	福永瑞	穂岐阜
五島藤光	岐阜	後藤利人	岐阜	日比四郎	岐阜
井上政章	大分	岩田長之	大阪	加藤定一	愛知
河合一郎	岐阜	酒井陽一	愛知	北村友行	岐阜
小島太郎	岐阜	松岡潔	岐阜	松下幸彦	愛知
門野龍一	大阪	森信義	岐阜	松下數雄	和歌山
鍋田紀之	愛知	野口淳	滋賀	大橋憲司	靜岡
大橋衛	岐阜	大野楊七	愛知	大野武夫	愛知
大脇宣太郎	岐阜	奧田慶三	大阪	小野弘平	新潟
小里運一	岐阜	阪村準藏	三重	篠田了	岐阜
曾根定吉	岐阜	杉原尙夫	岐阜	鈴木精一郎	靜岡
館孝重	福井	高橋佳一	兵庫	上田三郎	滋賀
分部桃彦	山梨	吉原藏六	愛知		

第一學年

青井稔	愛知	青木貞一	岐阜	安藤孝夫	岐阜
足立茂	岐阜	内藤純	愛知	岡田秀雄	愛知
岡崎耕平	滋賀	河原斌	愛知	河村小次郎	山口
荻谷正次郎	岐阜	北見床五郎	新潟	郷座馬忠勝	岐阜
是永豐	靜岡	佐々成美	愛知	座馬忠勝	岐阜
鈴木良	愛知	鈴木民次	靜岡	杉江貞市	岐阜
龍岡光	鹿兒島	田島富穂	群馬	武田靜人	廣島
竹市鼎	岐阜	鳥居真一	靜岡	中村治	三重
野村陽一郎	愛知	服部清	岐阜	肥田孝太郎	富山
日比定雄	岐阜	平塚靜雄	靜岡	松原喜一	奈良
牧園信三	福岡	宮崎精一	岐阜	宮崎良夫	廣島
村瀬新一	岐阜	山本政次	愛知	山本敬三	石川

安田 亨一 岐阜

林學科

第二學年

青木久雄	岐阜	遠藤	豐	岐阜	藤井捨三	岐阜
藤島智愛	知	福岡正巳	愛	知	船越正一	福井
後藤一郎	岐阜	後藤迪德	島		原田政久	愛知
平井豐	岐阜	保母伍朗	岐阜		堀田憲三	愛知
井口伍郎	岐阜	石井教明	大阪		伊東祐彦	岐阜
加藤新一	愛知	水野滿藏	愛知		森下勉	和歌山
鳴澤勝長	野	西村美之	岐阜		小平賢次郎	新潟
大野隆資	岐阜	小澤宏	靜岡		白井三郎	岐阜
谷口正作	香川	植松千春	岐阜		若林修	北海道
山崎健造	秋田					

第一學年

赤座忠夫	岐阜	猪口來三	岐阜	生田直一	和歌山
江口英夫	岐阜	小原一二郎	岐阜	門田進	愛媛
神山茂崎	玉	窪田謹治	長野	下村衡郎	愛知
千賀英	岐阜	田中眞治	岐阜	田中虎造	和歌山
二宮保直	岐阜	日江井勝	岐阜	菱田敬三	岐阜
堀利男	岐阜	松尾勉	岐阜	牧瀬勝尙	佐賀
宮澤袈裟	松長野	村本政夫	大阪	山口一郎	岐阜
山田貢	岐阜	山田透	岐阜	橫山英三郎	長野

化學科

第二學年

青砥一之	福島	藤井秀次郎	岐阜	藤戸高	清和歌山
深尾虎二	岐阜	原田勝山	山口	蔭山道雄	兵庫

加藤善一	靜岡	加藤千一	愛知	加藤信幸	岐阜
北原增雄	長野	隈本統吾	福岡	國廣章次	山口
町田増夫	長野	松永廉吉	岐阜	村田磐	岐阜
永田傳	靜岡	西尾豊治	岐阜	酒井輝二	岐阜
篠田菊男	岐阜	庄田信次	靜岡	庄田達雄	福井
杉原善敏	岐阜	杉本駿彦	崎玉	玉井門太郎	愛媛
田中龍太郎	滋賀	寺本棄左男	三重	平塚勇	大阪
角田銀	愛知	山本英三郎	愛知		
第一學年					
荒木正美	靜岡	市川清	長野	伊藤良郎	長野
内田憲	靜岡	岡武剛	岡山	片岡信雄	岐阜
川北十次郎	三重	木内和太郎	長野	櫛田稔	愛知
後藤太郎	神奈川	酒井辰吉	愛知	清水克	岐阜

三、學生地方別表

(大正十四年九月末日現在)

府縣別	農學科		林學科		農藝化學科		計
	第一學年	第二學年	第一學年	第二學年	第一學年	第二學年	
北海道				一			一
秋田							一
福島							一
群馬	一						一

鈴木博	愛知	須賀錠一	愛知	瀬戸久三	愛知
友廣勇	新潟	戸田鶴玄	岐阜	中尾鐵一	愛知
丹羽真二	岐阜	平岩裕	靜岡	古田守夫	岐阜
宮島式郎	岐阜	御子柴哲郎	長野	水野耕一	愛知
守田英夫	岐阜	渡邊正男	岐阜		

福	愛	香	德	山	廣	岡	和	奈	兵	大	滋
岡	媛	川	島	口	島	山	歌	良	庫	阪	賀
一				一	二			一			一
							一		一	三	二
	一						二			一	
		一	一				一			一	
						一					
一	一			二			一		一	一	一
二	二	一	一	三	二	一	五	一	二	五	四

三	愛	靜	岐	長	山	福	石	富	新	神	埼
重	知	岡	阜	野	梨	井	川	山	瀉	奈	玉
一	八	四	一三				一	一	一		
一	八	二	一六		一	一			一		
	一		一四	三							一
	六	一	一三	一		一			一		
一	七	三	八	四					一	一	
一	三	三	九	二		一					一
四	三三	一三	七二	一〇	一	三	一	一	四	一	二



合計	鹿兒島	大分	佐賀	種別			
				最高	最低	平均	均
三七	一			二三年八月	一七年六月	一九年七月	
三八		一		二三年五月	一七年六月	一九年七月	
二四			一	二三年八月	一八年九月	二一年一月	
二八				二三年五月	一八年九月	二一年一月	
二六				二三年八月	一八年九月	二一年一月	
二九				二三年五月	一八年九月	二一年一月	
一八二	一	一	一				

四、學生年齡表

(大正十四年九月末日現在)

種別	最高	最低	平均	均	農藝化學科		
					第一學年	第二學年	第三學年
農學科	二三年五月	一七年六月	一九年七月	二三年八月	一八年九月	二一年一月	
林學科	二三年八月	一七年六月	一九年七月	二三年五月	一八年九月	二一年一月	

農藝化學科	第一學年	第二學年	第三學年
	二三年八月	二三年五月	二三年八月
	一七年六月	一八年九月	一八年六月
	一九年七月	二三年二月	一九年四月

五、入學志願者及入學者學科別表

年度	學科別	入學志願者		入學者		志願者ニ對スル入學者%	
		中學校出身者	實業學校出身者	中學校出身者	實業學校出身者	中學校出身者	實業學校出身者
同四十年度	農藝化學科	一三九	一五〇	四五	四二	八七	二三・三
	林學科	三九	四四	一〇	一六	二六	二〇・五
	農學科	三八	四三	一三	一六	二三	三四・二
同三十年度	農藝化學科	一三一	一三八	六〇	四一	一〇一	四五・八
	林學科	二八	二五	一八	一二	三〇	六四・二
	農學科	三一	三七	一五	一五	三〇	四八・一
同二十年度	農藝化學科	七二	七六	二七	一四	四一	三七・五
	林學科	七六	一四八	一五	一四	三〇	四八・一
	農學科	一四八	二七	一四	一四	三〇	四八・一
合計	農藝化學科	一三九	一五〇	四五	四二	八七	二三・三
	林學科	三九	四四	一〇	一六	二六	二〇・五
	農學科	三八	四三	一三	一六	二三	三四・二
合計	農藝化學科	一三一	一三八	六〇	四一	一〇一	四五・八
	林學科	二八	二五	一八	一二	三〇	六四・二
	農學科	三一	三七	一五	一五	三〇	四八・一
合計	農藝化學科	七二	七六	二七	一四	四一	三七・五
	林學科	七六	一四八	一五	一四	三〇	四八・一
	農學科	一四八	二七	一四	一四	三〇	四八・一
合計	農藝化學科	一三九	一五〇	四五	四二	八七	二三・三
	林學科	三九	四四	一〇	一六	二六	二〇・五
	農學科	三八	四三	一三	一六	二三	三四・二
合計	農藝化學科	一三一	一三八	六〇	四一	一〇一	四五・八
	林學科	二八	二五	一八	一二	三〇	六四・二
	農學科	三一	三七	一五	一五	三〇	四八・一
合計	農藝化學科	七二	七六	二七	一四	四一	三七・五
	林學科	七六	一四八	一五	一四	三〇	四八・一
	農學科	一四八	二七	一四	一四	三〇	四八・一
合計	農藝化學科	一三九	一五〇	四五	四二	八七	二三・三
	林學科	三九	四四	一〇	一六	二六	二〇・五
	農學科	三八	四三	一三	一六	二三	三四・二
合計	農藝化學科	一三一	一三八	六〇	四一	一〇一	四五・八
	林學科	二八	二五	一八	一二	三〇	六四・二
	農學科	三一	三七	一五	一五	三〇	四八・一
合計	農藝化學科	七二	七六	二七	一四	四一	三七・五
	林學科	七六	一四八	一五	一四	三〇	四八・一
	農學科	一四八	二七	一四	一四	三〇	四八・一

備考 各年度募集ハ約農學科四〇人林學科三〇人農藝化學科三〇人也

第八 土地及建物

一、土地

種別	學校敷地		坪數	所在地
	畑	田		
合計	六五、四八六・六六	一九、六九七・二五	同	岐阜縣稻葉郡那加村
農場	二四、七二七・〇七	二二、〇六二・三四	同	

二、建物

種別	構造	棟數	坪數(延坪)
本館	木造二階建	一	八四四・〇〇〇
實驗室	木造平屋建	五	七二五・〇〇〇

雨天體操場	同	一	八四・〇〇〇
養蠶室	木造二階建	一	一六〇・〇〇〇
柔劍道場及銃器室	木造平屋建	一	一一二・〇〇〇
室素分析室	同	一	四・〇〇〇
昆蟲室	同	一	一一・〇〇〇
瓦斯發生室	同	二	五・二五〇
動力室及蒸溜水製造室	同	一	三二・〇〇〇
藥品庫	鐵筋コンクリート平屋建	一	一一・〇〇〇
給水唧筒室	木造平屋建	一	四・〇〇〇
小使室物置便所及渡廊下等	木造平屋一部二階建	二二	二一一・五〇〇
寄宿舍及同附屬建物	木造二階建一部平屋建	一六	五二七・五〇〇
農場事務室	木造二階建	一	一一二・〇〇〇

農産林産製造室	木造平屋建	一	六〇・〇〇〇
畜舎及飼料室 (サイロ共)	木造二階建	一	一四五・四五〇
農具室、作業室 及納屋等	木造平屋建	一	一〇八・〇〇〇
畜産製造室	同	一	二八・〇〇〇
農夫詰所	同	一	一二・五〇〇
堆肥舎	同	一	二八・〇〇〇
豚舎	同	一	一五・〇〇〇
鶏舎	同	一	一三・九七〇
燻烟室	鐵筋コンクリート平 屋建	一	一・〇〇〇
洗場	木造平屋建	一	四・〇〇〇
便所及渡廊下	同	二	一二・〇〇〇
合計		六七	三二六四・一七

### 第九 關係法令

一、文部省直轄諸學校官制抄 (明治二十六年八月  
勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校ハ左ノ如シ

- 盛岡高等農林學校 鹿兒島高等農林學校 上田蠶絲專門學校
- 東京高等蠶絲學校 京都高等蠶業學校 鳥取高等農業學校
- 三重高等農林學校 宇都宮高等農林學校 岐阜高等農林學校
- 宮崎高等農林學校 (其ノ他省略)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長 教授 生徒監 助教授 書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所  
屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ專ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル

場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ於テ特ニ文部大臣ノ許可

ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クル

コトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

二、實業學校令抄(明治三十二年二月勅令第二十九號)

第一條 實業學校ハ實業ニ従事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ

以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニカムヘキモノトス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水産學

校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト看做ス

第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校ト

ス

實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

三、專門學校令抄(明治三十六年三月勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校トス

專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等

女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラ

レタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術

技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定

ムルコトヲ得  
前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科研究科及ヒ別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限學科學科目及其ノ程度竝豫科研究科及別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム(第二項省略)

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

四、官吏服勞紀律

(明治二十年七月勅令第三十九號)

第一條 凡ソ官吏ハ天皇陛下及天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其ノ職務ヲ盡スヘシ

第二條 官吏ハ其ノ職務ニ付本屬長官ノ命令ヲ遵守スヘシ但其ノ命令ニ對シ意見ヲ述フルコトヲ得

第三條 官吏ハ職務ノ内外ヲ問ハス廉耻ヲ重シ貪汚ノ所爲アルヘカラス

官吏ハ職務ノ内外ヲ問ハス威權ヲ濫用セス謹慎懇切ナルコトヲ努ム

ヘシ

第四條 官吏ハ己ノ職務ニ關スルト又ハ他ノ官吏ヨリ聞知シタルトヲ問ハス官ノ機密ヲ漏洩スルコトヲ禁ス其ノ職ヲ退ク後ニ於テモ亦同様トス

裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ秘密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ本屬長官ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得

第五條 官吏ハ私ニ職務上未發ノ文書ヲ關係人ニ漏示スルコトヲ禁ス  
第六條 官吏ハ本屬長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及職務上居住ノ地ヲ離ル、コトヲ得ス

第七條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス

第八條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其ノ職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀又ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トヲ問ハス總テ他

人ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス

官吏外國ノ君主又ハ政府ヨリ授與セントスル所ノ勳章榮賜俸給竝贈遺ヲ受クルニハ天皇陛下ノ裁可ヲ要ス

第九條 左ニ掲ケタル者ト直接ニ關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ其饗燕ヲ受クルコトヲ得ス

一、官廳ノ工事ヲ受負フ者

一、官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者

一、官廳ノ補助金ヲ受クル企業者

一、官廳ノ用品ヲ調達スル者

一、官廳ト諸般ノ契約ヲ結フ者

第十條 凡ソ上官タル者ハ職務ノ内外ヲ問ハス所屬官吏ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス

第十一條 官吏竝ニ其ノ家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接

ト關接トヲ問ハス商業ヲ營ムコトヲ得ス

第十二條 官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス

第十三條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス

第十四條 浪費シテ産ヲ破リ其ノ分ニ應セサル負債ヲ爲ス者ハ過失ノ一タルヘシ

第十五條 官吏ハ私立郵船會社又ハ私立鐵道會社ヨリ無賃乗船無賃乗車切符ヲ受クルコトヲ得ス

第十六條 凡ソ局長所長其他一部ノ長ハ各所屬官吏ヲ監督シ其ノ過失若シ懲戒處分ヲ行フノ區域ノ内ニ在ラサル者ハ之ヲ訓告スルコトヲ務ムヘシ若シ懲戒處分ヲ要スト認ムルトキハ事情ヲ具ヘテ之ヲ本屬長官ニ稟告スヘシ其ノ情ヲ知り隱蔽シテ稟告セサル者亦過失タルヲ

免レス

第十七條 本紀律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ス

五、專門學校入學者檢定規程 (明治三十六年三月 文部省令第十四號)

第一條 專門學校ノ本科ニ入學セントスル者ニシテ中學校若ハ修業年限四年以上ノ高等女學校ヲ卒業セサル者ハ本令ニ依リ學力ノ檢定ヲ受クヘシ

第二條 檢定ヲ分チテ試驗檢定及無試驗檢定トス

第三條 檢定試驗ハ每年少クトモ一回之ヲ行フ

試驗檢定ノ出願期限試驗施行ノ期日及場所ハ豫メ官報ヲ以テ之ヲ告示ス

第四條 試驗檢定ノ學科目及其程度ハ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校ノ各學科目及其ノ卒業程度トス但シ中學校若ハ高等女學校ニ

於テ加除シ又ハ課セサルコトヲ得ル學科目ハ之ヲ省ク

第五條 試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ受験願書(第一號書式)ニ左ノ書類ヲ添ヘ受験地ノ地方廳ヲ經由シ文部大臣ニ出願スヘシ

一、履歷書(第二號書式)

二、戶籍抄本

三、寫眞(手札形トシ出願前三月以内ニ脱帽ニテ撮影シタルモノニシテ裏面ニ撮影年月日本籍氏名ヲ記載スヘシ)

四、第七條第二項ニ依ル證明書ノ寫又ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ノ寫

五、第八條ノ資格ヲ證明スル書面

第六條 試驗檢定ヲ受ケントスル者ハ手數料トシテ金七圓ヲ納付スヘシ

第七條 試驗檢定ニ合格シタル者ニハ合格證書(第三號書式)ヲ交付ス  
試驗檢定ヲ受ケタル者ニシテ之ニ合格セサルモ受験學科目中合格點

ヲ得タルモノアルトキハ其ノ證明書第四號書式ヲ交付ス  
前項ノ證明書ヲ有スル者ニシテ試験檢定ヲ出願シタルトキハ當該學  
科目ノ試験ヲ免除ス

前項ノ規定ハ大正七年文部省令第三號第六條第二項ニ依ル證明書ヲ  
有スル者ニ付之ヲ準用ス

第八條 試験檢定ノ學科目中一科目又ハ數科目ニ就キ中學校若ハ修業  
年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト認ム  
ル者ニ對シテハ當該學科目ノ試験ヲ免除ス

第九條 合格證書ヲ有スル者其ノ氏名本籍ヲ變更シ又ハ合格證書ヲ亡  
失毀損シタルトキハ其ノ書換若ハ再交付ヲ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ合格證書ノ書換若ハ再交付ヲ出願スル者ハ手数料トシテ  
金壹圓ヲ納付スヘシ

第十條 試験ニ關シ不正ノ行爲アリタル者ニ對シテハ其ノ試験ヲ停止  
ス試験後發覺シタルトキハ既ニ交付シタル合格證書又ハ證明書ハ其  
ノ効力ヲ失フ

第十一條 無試験檢定ハ當該專門學校ニ於テ入學ノ際之ヲ行フ  
無試験檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ文部大臣ニ於テ專門學校入學ニ  
關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力  
ヲ有スルモノト指定シタル者ニ限ル

前項ノ指定ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 本令ニ依リ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ用ヒ之ヲ願書ニ  
貼付スヘシ其ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス

(書式省略)

#### 六、實業學校卒業生ノ專門學校入學ニ關スル件抄

(大正十三年三月  
文部省告示第九號)

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ專門學校ノ入學ニ關シ中  
學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スル



モノト指定ス(大正十三年十月改正ノ專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依リ爲シタル指定ト看做ス)

一、男子實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

七、文部省直轄學校外國人特別入學規程

(明治三十四年十一月文部省令第十五號)

第一條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若ハ數科ノ教授ヲ受ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限リ特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若ハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若ハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ

相當ノ學力アリト認メタル者ニ限リ之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限リニ在ラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料、入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

八、臺灣又ハ朝鮮人ニ外國人特別入學規程準用ノ件

(明治四十四年四月文部省令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若ハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

九、實業學校教員養成規程

(大正四年三月文部省令第七號)

第一條 東京帝國大學農學部附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商

業教員養成所、東京高等工業學校附設工業教員養成所及大阪高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徵收セス  
前項養成所ノ生徒ハ一箇月金貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條 前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一  
二、養成所ノ生徒ニシテ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間

三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ  
前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲任  
意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ其ノ就職ヲ罷メ  
又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキ  
ハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學資又ハ授業料ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免

除スルコトアルヘシ

- 一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ
- 二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ
- 三、第二條ノ義務ヲ盡サス又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第六條 地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ従事スル者ニ其ノ義務期間内轉任退學若ハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ但シ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタルカ爲當然休職トナリタル者アルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ休職期間滿了ノ爲退職者トナリタル者アルトキ若ハ休職期間中復職ヲ命シタルトキ亦同シ

第七條 各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 大學及専門學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ従事セントスル者ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ従事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ従事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給スヘキ學生

生徒ニ關シ之ヲ準用ス

110

一〇、文部省直轄實業專門學校委託生規程

(明治四十年七月  
文部省令第二十三號)

第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業專門學校生徒ニシテ卒業後其公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

第二條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得

第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月拾圓以上トス

第四條 委託生ニハ授業料ヲ徵收セス

第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從

事スヘキ義務ヲ有ス

第六條 委託生ニシテ在學中半途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

一、前條ノ義務ヲ盡サ、ルトキ

二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

三、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

一一、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定

(大正八年七月  
文部省告示第九十二號)

明治四十年文部省令第二十八號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規

111

程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ

官立公立實業專門學校本科卒業者 (其ノ他省略ス)

一一、文部省直轄諸學校生徒入學試験無効ニ關スル件

(明治三十八年十月  
文部省令第十八號)

文部省直轄諸學校ノ生徒ニシテ豫メ學校長ノ許可ヲ受ケス他ノ文部省直轄諸學校ノ入學試験ヲ受ケタルトキハ其ノ入學試験ハ無効トス

### 附 錄

#### 一、岐阜高等農林學校校友會會則

##### 第一章 總 則

第一條 本會ハ岐阜高等農林學校校友會ト稱シ事務所ヲ同校内ニ置ク

第二條 本會ハ會員相互親睦シテ智德ヲ磨キ心身ヲ鍊リ以テ本校ノ校風ヲ發揚セムコトヲ期ス

第三條 本會ノ會員ヲ分ツコト左ノ如シ

一、正會員 本校學生

一、特別會員 本校卒業者及修業者

一、贊助會員 本校職員及本校緣故者

一、名譽會員 本會功勞者及本校ニ密接ナル關係ヲ有スル名士

##### 第二章 分 掌

第四條 本會ニ左ノ諸部ヲ置ク

- 一、辯論部 學術及修養等講演ニ關スルコト
- 一、學藝部 會報等ノ刊行及圖書ニ關スルコト
- 一、體育部 〔武道部 劍道柔道ニ關スルコト  
運動部 野球、庭球等各種運動競技ニ關スルコト〕
- 一、庶務部 庶務會計ノ一般ニ關スルコト

第三章 役員

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一、會長 一名
- 一、副會長 一名
- 一、部長 四名
- 一、主任 二名
- 一、係長 若干名
- 一、幹事 若干名

第六條 役員ハ左ノ方法ニ依リ之ヲ定ム

- 一、會長ハ本校長ヲ推戴ス
- 一、副會長ハ會長之ヲ本校首席教授ニ委囑ス
- 一、體育部長ハ本校生徒監ニ他ノ部長及主任ハ贊助會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一、幹事ハ正會員中ヨリ各學級若干名ツ、選定シ係長ハ幹事中ヨリ互選ス

第七條 役員ノ常務左ノ如シ

- 一、會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス
- 一、副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス
- 一、部長ハ其部一切ノ事務ヲ鞅掌ス
- 一、主任ハ部長ニ代リ其部ノ要務ヲ主管ス
- 一、係長ハ部長又ハ主任ヲ補佐シ部務ヲ分掌ス
- 一、幹事ハ部長又ハ主任ノ指揮ヲ受ケ部務ニ從事ス

第八條 役員ノ任期ハ 簡年トシ毎年四月委囑改選ス但シ重任ヲ妨ケス

第九條 役員中缺員ヲ生シタルトキハ臨時之ヲ補缺ス但シ其任期ハ前者ノ殘任期間トス

第四章 義 務

第十條 正會員ハ會員トシテ年拾圓ヲ每學期授業料納付ノ際二期ニ分納スルモノトス

第十一條 正會員ハ入會金トシテ五圓ヲ入會ノ際第一期會費ト共ニ納付スルモノトス

第十二條 正會員ハ積立金トシテ拾圓ヲ卒業ノ際納付スルモノトス

第十三條 特別會員ハ會費トシテ參圓以上ヲ毎年出金スルモノトス

第十四條 在校贊助會員ハ會費トシテ毎月俸ノ百分ノ一ヲ出金スルモノトス但シ兼任教

官又ハ定額ノ手當ヲ受ケサル者ハ此限ニ在ラス

第十五條 校外贊助會員ハ毎年適宜後援ヲ爲スモノトス

第五章 會 計

第十六條 會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第十七條 經費豫算ハ毎年四月中ニ各部長ニ於テ編成シ役員會ノ協議ヲ經テ會長之ヲ決定ス

第十八條 收支決算ハ次年度ノ總會ニ於テ之ヲ報告ス

第十九條 會費ハ之ヲ經常費ニ支辨ス

第二十條 入會金及殘餘金ハ之ヲ積立金トシ別途保管スルモノトス

第二十一條 經費豫算以外ニ支出ヲ要スル場合ハ役員會ニテ議決シ會長ノ承認ヲ得テ之ヲ流用スルコトヲ得

第六章 雜 則

第二十二條 總會ハ毎年四月之ヲ開ク但シ臨時總會ヲ開クコトアルヘシ

第二十三條 本會ハ會員ノ慶弔ニ關シ敬意ヲ表スルモノトス

第二十四條 各部ノ細則ハ其部長之ヲ立案シ役員會ノ協議ヲ經テ會長ノ承認ヲ得ルモノトス

第二十五條 本則ノ改變ハ總會ニ於テ出席者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ會長ノ承認ヲ受クルモノトス

二、岐阜高等農林學校校友組合規約

第一章 總 則

一一八

第一條 本組合ハ學生ヲシテ產業組合ノ便益及之カ實地運用ヲ經驗セシメムカ爲必要ナル物品ヲ購買シテ之ヲ組合員ニ配布スルヲ以テ目的トス

第二條 本組合ハ岐阜高等農林學校校友組合ト稱ス

第三條 本組合ハ岐阜高等農林學校職員及學生ヲ以テ組織シ事務所ヲ本校内ニ置ク但シ小使常農夫等ハ希望ニヨリ組合員タラシムルコトヲ得

第四條 本校職員及學生ハ組合員トシテ加入スヘキ義務アルモノトス

第五條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利義務ハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス

第二章 出資及積立金

第六條 出資一口ノ金額ハ金五圓トス

第七條 第一回拂込金額ハ一口ニ付金參圓トス

第八條 第二回以後ノ拂込ハ組合長ノ通知ニヨリ之ヲ拂込ムモノトス

第九條 毎決算期ニ於テ剩餘アリタルトキハ積立金トス

第十條 積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外臨時急用ノ支出ニ使用スルコトヲ得

第十一條 積立金ハ確實ナル銀行ノ預金トス

第三章 組合ノ機關

第十二條 本組合ニ組合長一名理事十名監事四名ヲ置ク

組合長ニハ學校長ヲ推薦シ理事及監事各 名ハ職員中ヨリ組合長之ヲ委嘱シ他ハ組合員之ヲ選舉ス

第十三條 理事及監事ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第十四條 通常總會ハ毎年一月之ヲ開キ出納損益ヲ精算報告ス

臨時總會ハ理事及監事カ必要ト認メタルトキ又ハ組合員二分ノ一以上ヨリ請求アリタルトキ之ヲ開ク

第十五條 總會ノ決議ハ出席組合員ノ過半数ヲ以テ之ヲ定ム

但シ本規約ノ變更ハ出席組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ經テ組合長ノ許可ヲ得ヘキモノトス

一一九



第十六條 組合長ハ本組合ヲ統轄シ一切ノ責任ヲ負フ

第十七條 理事及監事ハ金錢物品ノ出納ニ任シ特ニ監事ハ計算保證ノ任ヲ負フ

第十八條 本組合ニ書記ヲ置キ理事又ハ監事之ヲ指揮シ庶務及物品出納等ヲ取扱ハシムルコトヲ得

#### 第四章 事業執行

第十九條 本組合ノ事業年度ハ一月一日ヨリ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第二十條 本組合ニ於テ取扱フ物品ハ書籍、文房具、手道具、小間物、被服及食料品等トス

第二十一條 組合員ニ分配スル物品ノ代價ハ市價若ハ其レ以下トス

第二十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定メ組合長ノ承認ヲ受クルモノトス

#### 第五章 加入及脱退

第二十三條 新加入組合員ハ既拂込金ノ外積立金出資一口ニ對スル割當金額ヲ口數ニ應シ加入金トシテ差出ヲ要ス

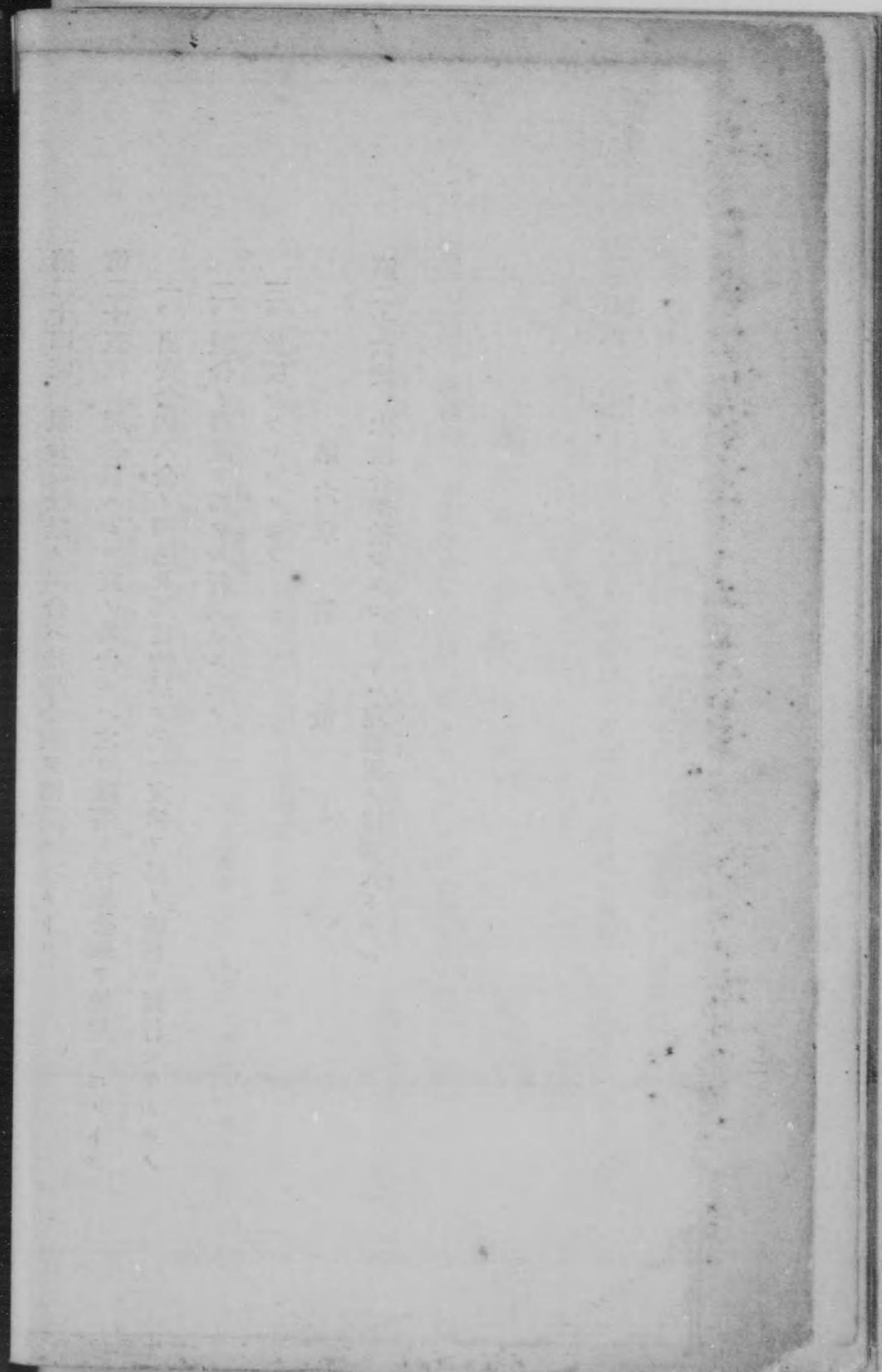
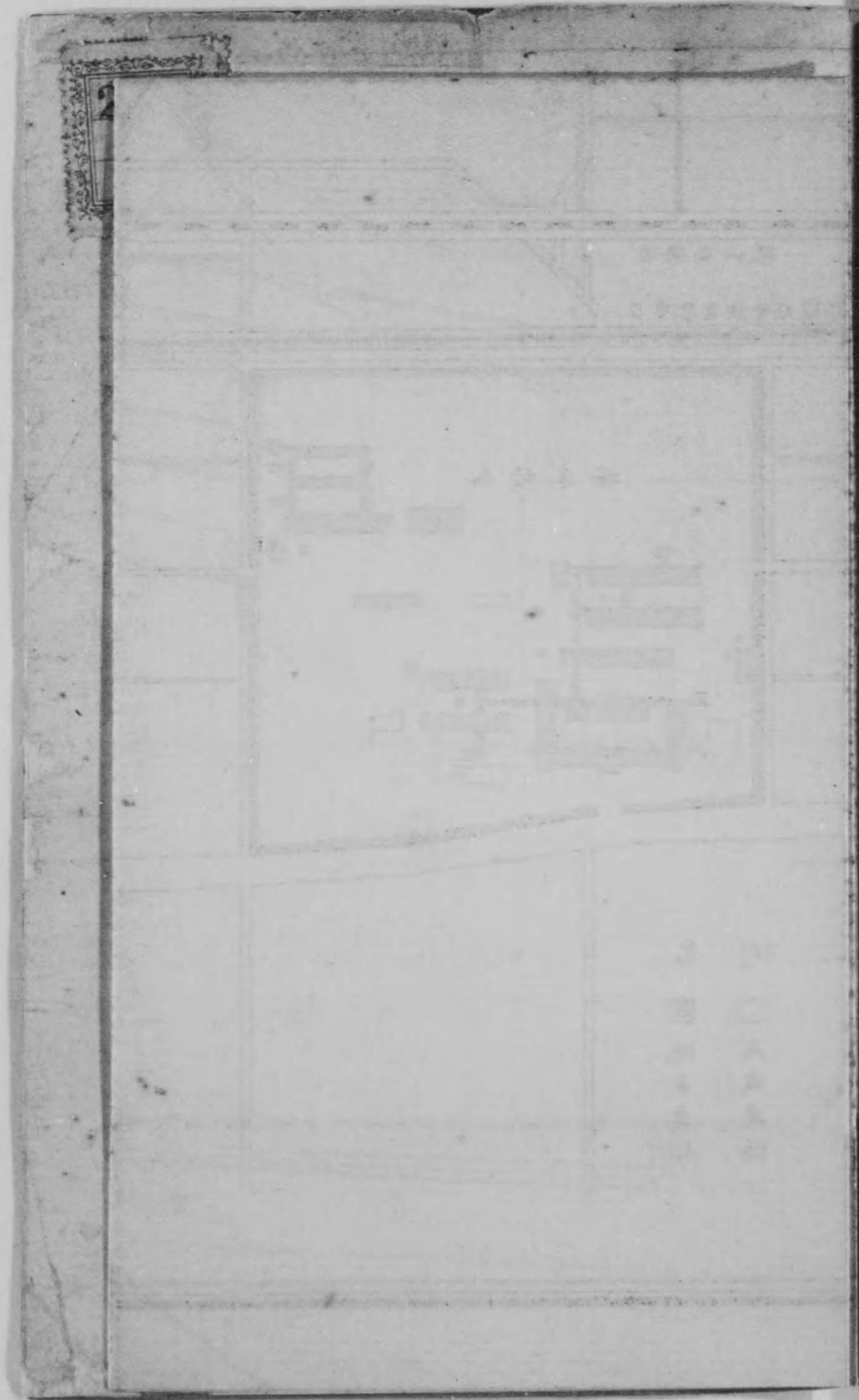
第二十四條 組合員脱退ノ場合ハ持分全額ヲ拂戻スモノトス

第二十五條 組合員ニシテ左ノ場合ニハ之ヲ除名シ持分全額ヲ拂戻スモノトス

- 一、出資金加入金ノ拂込及購買物品ノ代金支拂ヲ怠リ義務ヲ履行セサルモノ
- 二、組合ノ事業ヲ妨クル行爲アルモノ
- 三、放校セラレタルモノ

#### 第六章 解散

第二十六條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ精算人トナル







291  
74

大正十四年十一月五日印刷  
大正十四年十一月八日發行

發行者

岐阜市外那加村

岐阜高等農林學校

電話岐阜一五六四番

印刷者

岐阜市七軒町十二番地

河田貞次郎

印刷所

岐阜市七軒町十一番地

西濃印刷株式會社岐阜支店

終

